

# ユズの低温貯蔵における高温予措の影響

## 第2報 採取時期に関する試験

田中満稔・青木俊和・谷岡英明

Effect of High Temperature Pretreatment on Yuzu (*Citrus Junos*  
Sieb. ex Tanaka) Fruits before Low Temperature Storage  
. Experiments on Harvest Time

Mitsutoshi TANAKA, Toshikazu AOKI and Hideaki TANIOKA

### 要 約

ユズの採取時期の違いと高温予措が果実の貯蔵性に及ぼす影響を検討した。結果は以下の通りであった。

1. 予措中の果実重量の減少は、自然予措では採取時期が早いほど大きかったが、高温予措ではほぼ一定であった。予措期間を除いた貯蔵中の果実重量の減少は、高温予措、自然予措とも採取時期が早いほど大きく、同一採取時期では自然予措のほうが果実重量の減少が大きかった。
2. 水腐れ症の発生は、自然予措の場合、採取時期が遅いほど多くなるが、高温予措により、その増加の割合は著しく減少した。
3. こ斑症の発生は、採取時期が早いほど多く、高温予措により発生が増加した。
4. 採取時期が遅いと自然予措では、貯蔵後期にへた落ちが多く発生したが、高温予措ではへた落ちの発生はみられなかった。
5. 10 月中～下旬採取果実は高温予措を行わず、年内～2 月頃までの出荷とし、11 月上旬以降に収穫した果実に高温予措を行い、3 月以降、採取時期が早いものから出荷することで、出荷率の向上を図ることが出来る。

キーワード：ユズ，貯蔵，高温予措，果皮障害，水腐れ症，こ斑症，採取時期